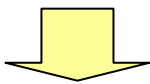
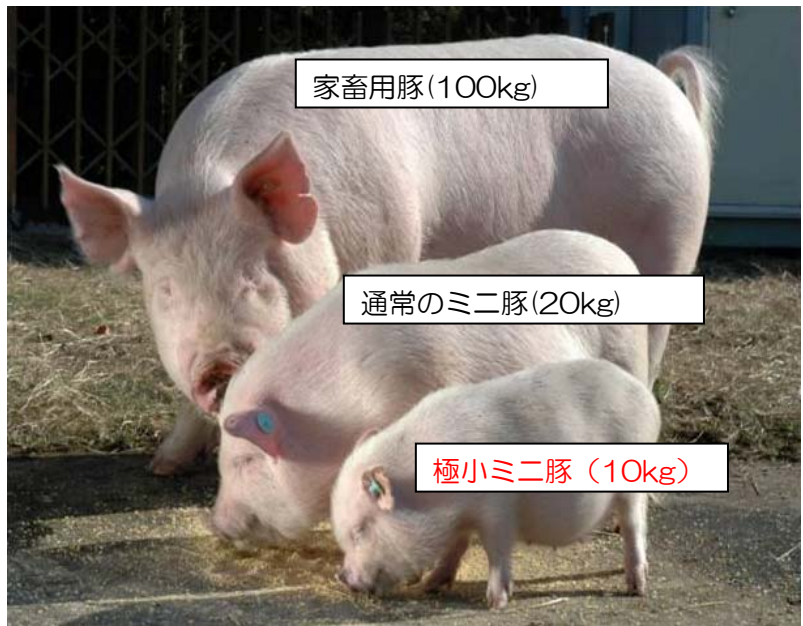


# 医療実験用の

# 極小ミニ豚の供給開始

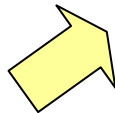
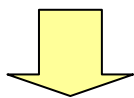
## 中小家畜研究センター

- ・新しい薬を作るために動物実験が必要
- ・臓器そうきの特徴などが人に近いブタが注目される
- ・薬の量が少なくて済み、取り扱いやすいミニ豚じゅようの需要が増加



県内たんじょうで誕生した極小豚ごくしょうぶたさいの細胞さいぼうを豚の卵子に組み込んで、クローン豚を作出

個体間のばらつきが少  
ない、実験動物じっけんどうぶつとして優すぐれた極小ミニ豚を開発、供給を開始しました。



遺伝子いでんしを調べて、毛色が白いなど、良い特長を持つ豚どうしを交配

お問い合わせ先

静岡県畜産技術研究所中小家畜研究センター

養豚・養鶏科

電話：0537-35-2291、FAX：0537-35-2294

E-mail: chusyol@sp-exp.pref.shizuoka.jp

ホームページ：www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-870/